

平成27年度静岡大学教育学部附属島田中学校教育研究発表会

音 楽 科

平成27年11月6日(金)

研究主題 主体性を高める授業過程

教科テーマ

無意識的感受を意識化する音楽授業づくり ～言葉の原点としての響きを求めて～

言葉は、旋律やリズム、曲の構想から深くかかわり、言葉のもつ抑揚、アクセント、リズム、音質、語感などと深く結びついています。「どんな歌い方をすればいいのだろう」「どのようにしたら、よりよく表現することができるのだろう」ということを追究していくことにより、言葉と音楽とのかかわりに対する学びができるようになり、和楽器を使った鑑賞の取り扱いがさらに意味のあるものになっていくのではないのでしょうか。

本年度も、教科テーマを「無意識的感受を意識化する音楽授業づくり～言葉の原点としての響きを求めて～」と題し、音や言葉がもつ「響き」を意識化できることを目指した授業づくりに取り組んでいます。生徒が「響き」を意識化できれば、これまでとは異なる見方や考え方ができるようになり、音楽科の目標である「豊かな情操を養う」ことにもつながっていくと考えました。



タイムテーブル

8:30	受付
9:00	全体会
9:40	移動・休憩
10:00	公開授業 2年B組
10:50	移動・休憩
11:10	概要説明 教科協議会
12:00	昼食・休憩
13:00	ワークショップ (休憩含む)
16:00	

〈公開授業〉2年B組

授業者 小林優樹

表現を工夫しよう

《勸進帳》より「これやこの」

義経一行が登場し花道をわたってくるこの場面は、長唄の唄方全員で盛大に舞台を盛り立てるシーンです。グループに分かれて、声の出し方や言葉の響きなど、長唄の特徴的な唄い方をとらえて追究する授業です。

〈ワークショップ〉

『弾き唄いにチャレンジ!』 地歌《七福神》

講師: 静岡大学教育学部 准教授

長谷川 慎 先生

長唄同様に日本音楽の「歌い物」の一つである地歌箏曲(箏)。今回は器楽としておなじみの、箏の伝統的な歌唱様式「弾き唄い」に挑戦します。皆さんで《七福神》を演奏し、楽しく唄いましょう。箏の基本的奏法はもちろん、声の出し方や発音など、地歌の基本を学ぶことができます。

教科研究の概要説明と教科協議会

〈研究協力委員〉

菊川市立菊川東中学校

教諭 水越 梨紗

〈共同研究者〉

静岡大学教育学部 教授 北山 敦康

静岡大学教育学部 准教授 長谷川 慎

静岡大学教育学部 助教 後藤友香理

〈島田市教科等指導員〉

島田市立島田第一中学校

教諭 青島 淳子

〈助言者〉

静岡西教育事務所地域支援課

指導主事 後藤志津子

★申し込みは別紙参加申込書または本校ホームページよりお願いします。

ホームページ<http://fzk.ed.shizuoka.ac.jp/shimachu/>